

## 第3回

# 新しいまちづくり住民ワークショップ 成果 (分野別の検討)

丸亀市・綾歌町・飯山町合併協議会

## 目 次

概要.....	1
自然との共生.....	2
住環境整備.....	5
産業振興.....	8
文化・教育.....	10
健康・福祉.....	13
行財政改革.....	16
コミュニティの推進.....	19

## 第3回新しいまちづくり住民ワークショップ概要

### 1 開催日時

平成15年9月6日(土) 13:30～16:30

### 2 開催場所

飯山町役場本館4階 多目的ホール

### 3 参加者

当日の参加者数は、住民26人、職員21人、計47人であった。住民の希望に応じて、新市建設計画の基本方針の7分野ごとの班に分かれて検討した。

1班 自然との共生

2班 住環境整備

3班 産業振興

4班 文化・教育

5班 健康・福祉

6班 行財政改革

7班 コミュニティの推進

### 4 ワークショップのテーマ

当日のワークショップで話し合われたテーマは、以下の3つであった。

各分野における課題(評価できる点)

各分野の目指すべき方向性

新市で取り組みたいこと

### 5 ワークショップの進行形式

7班に分かれて、グループディスカッションを行いながら、班ごとの意見を模造紙に取りまとめていった。具体的な手順は、以下のとおり。

設定されたテーマに関して、ポストイットに自分の意見・コメントを書く

各自のポストイットを模造紙に貼りながら、班内で意見交換を行う

似ている意見をまとめて、名前を付ける

3つのテーマに関して、～ の手順を繰り返す

最後に5分程度で各班の発表を行う

1 班	自然との共生      [ 課題 ]
<p><b>河川の上流の課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自然環境保全のために第一次産業の振興</li> <li>• 河川の汚れ（農業用水路）</li> <li>• 森林（山林）の整備（綾歌町）</li> <li>• 下水道が未整備</li> <li>• 用排水路のコンクリート化による生物の減少</li> <li>• 遊休農地が増加（農業後継者が減っている）（綾歌町）</li> <li>• 減反政策により山麓・農地用水路の荒廃</li> </ul> <p><b>山</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 森林公園を継続的に整備していくべき（綾歌町）</li> <li>• 城山遊歩道の情報周知（綾歌町）</li> <li>• 自然豊かな畦田キャンプ場 もっと利用できる施設の整備（綾歌町）</li> <li>• 森林公園にはハイキングコース及び遊歩道を整備 年1回町民参加のハイキング大会（綾歌町）</li> <li>• 運動公園の整備（スポーツ、自然に触れる機会）（綾歌町）</li> <li>• 自然エネルギーの利用（風力・太陽熱・波力）</li> <li>• 大窪池 水辺環境整備事業計画中（飯山町）</li> <li>• 飯野山 野外活動センター トリムコース（丸亀市）</li> <li>• 総合運動公園 公園、遊歩道（飯山町）</li> </ul> <p><b>河川・平野部</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 土器川生物公園（丸亀市）</li> <li>• 河川での環境学習（水生生物調査）（丸亀市）</li> <li>• 土器川グラウンド</li> <li>• 土器川 河川敷公園、ソフトボール場、サッカー場 いつもきれい</li> <li>• ため池での環境教育（バードウォッチング）の実施（丸亀市）</li> <li>• 中津万象園（丸亀市）</li> <li>• 楠見池遊歩道（水環境整備）（飯山町）</li> <li>• 土器川 水辺の楽校 計画中（飯山町）</li> <li>• 丸亀城の森（丸亀市）</li> <li>• 丸亀城、亀山公園（丸亀市）</li> </ul> <p><b>下流の課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• より環境浄化のための環境ホルモン等の行政指導</li> <li>• 街路樹へのムクドリの増加（丸亀市）</li> <li>• 海岸、河口付近のゴミ（丸亀市）</li> <li>• 池の周りのゴミ（飯山町）</li> <li>• 青ノ山 不法投棄 毎年クリーン作戦でゴミ拾いをしているが、大きい物がけっこうある</li> <li>• 町内の地区公園 利用する子供たちが少ない、ゴミの不法投棄（綾歌町）</li> <li>• 土器川 ゴミ（少なくなっていると思う）</li> <li>• 海の再生計画（クリーンな海）</li> <li>• 本島の緑再生（丸亀市）</li> </ul> <p><b>海</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 海の観光（島を利用しての子供たちへの自然勉強）</li> <li>• 塩飽諸島の自然（丸亀市）</li> </ul>	

1 班	自然との共生　〔目指すべき方向性〕
<p><b>山・山麓</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 飯野山 松くい虫対策</li> <li>• 森林での枝打ちや除間伐の実施</li> <li>• 遊歩道の整備（防火帯）</li> <li>• キャンプ場の整備</li> <li>• ため池の保全 水の確保、水とのふれあい</li> <li>• 国民総満足度社会 自然環境</li> </ul> <p><b>田園</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ため池の管理</li> <li>• 果樹園、畜産等の振興</li> <li>• 堆肥を利用して有機栽培</li> <li>• 減農薬で野菜・米づくり</li> <li>• 里山オーナー制度</li> <li>• 遊休農地の活用（例：レクリエーション農園）</li> <li>• 河川のクリーン作戦</li> <li>• 炭素効果応用の水の浄化 木炭、コークスの埋設</li> <li>• 土器川兩岸での水質対策</li> <li>• 親水性のある護岸</li> <li>• 花崗岩等の石積工法の護岸工事</li> <li>• 微生物応用の水の浄化</li> </ul> <p><b>市街地</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 駅前のゴミ、鳩、ムクドリ</li> <li>• ゴミの分別、減量化</li> <li>• 助け合い、分かち合い、共助精神</li> <li>• 環境ホルモンを出さない住民意識の向上</li> <li>• 街中での緑の育成</li> </ul> <p><b>海、島</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• クリーンな海</li> <li>• 自然エネルギー（波力発電）</li> <li>• 魚介類が育つ海棚、アマモ（海草）の植付け</li> <li>• 観光あさり貝養殖場</li> <li>• 島の山林の手入れ</li> <li>• 塩飽諸島巡り観光船</li> </ul> <p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ガイドできる人（森、山を案内できる地域の人の支援ボランティア育成）</li> <li>• 森、山、川に触れる機会を増やす（ハイキング大会、水中生物の観察会）</li> </ul>	

1 班	自然との共生      [ 新市で取り組みたいこと ]
<p><b>自然</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 森林保全、里山オーナー制度、遊歩道・キャンプ場整備</li> <li>• 畦田キャンプ場の整備</li> <li>• 森林公園の整備、下刈り（新しくつくるより、保全していく）</li> <li>• 自然と共生した動物園、植物園</li> <li>• 低料金で遊べるレオマワールドの再オープン</li> <li>• 山林・農地・市街地・海が一体となった都市機能</li> <li>• 山から島までの自然学習</li> <li>• 観光ガイド（ボランティア）の支援センター的なものを作る</li> <li>• ボランティアを支援できる環境づくり（ガイド）</li> <li>• 地域住民主体による地域の自然環境保護</li> <li>• 丸亀・飯山・綾歌コース   ウォーキングラリーの実施（自然と人の交流）</li> <li>• 飯野山の統一的な保全意識</li> </ul> <p><b>環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 風力発電所の設置</li> <li>• 防災意識の向上</li> <li>• 自治消防団の理解、感謝の住民意識</li> <li>• 下水道の整備</li> <li>• 太陽熱発電の利用</li> <li>• プラズマ放電無公害真空焼却炉</li> <li>• 岐阜県荘川村 御母衣ダム 石と土で造ったダム</li> <li>• 川の浄化施設</li> <li>• 土器川の統一的な水質等の保全</li> </ul> <p><b>人</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 子供同士の交流を深める</li> <li>• 部活動、クラブ活動、文化祭等の交流</li> <li>• 学校内での縦割学級ではなく、大きな人数での縦割学級も試みてほしい</li> <li>• G N P 社会   G N S 社会</li> </ul> <p><b>海</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 海の生物観察会（船で瀬戸内海の水生物を知る機会、子供も大人も・・・）</li> <li>• 本島の緑再生（N P O、ボランティア主体の植林）</li> <li>• 水産業の振興</li> <li>• 波力発電所</li> <li>• クリーンな海を保つ最新の設備を導入した下水道最終処分場</li> </ul> <p><b>農業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 農業体験</li> <li>• ふれあい農園（遊休農地利用）</li> <li>• 観光農園（有機栽培）</li> <li>• 田畑の確保（農家の育成）</li> <li>• バイオ技術の有機農法で安全・安心食材</li> <li>• 観光農園（バイオ栽培）</li> </ul>	

2 班	住環境整備　〔課題〕
<p><b>道路</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>丸亀・綾歌・飯山の縦断道路がない</li> <li>1市2町を一つの行政区域とした道路計画の策定が必要</li> <li>広域になるので主要道路の整備、バスの運用方法</li> <li>歩道の整備（通学路の問題）</li> <li>三地区連絡道路整備</li> </ul> <p><b>公共交通</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ぐるっとバスのエリア拡大</li> <li>公共交通機関の見直し（丸亀：コミュニティバス）</li> <li>バスなど公共の交通機関の整備が不十分</li> <li>公共交通機関　バス・電車が広域化していない</li> <li>循環バス運行</li> <li>J R、琴電との連絡</li> <li>丸亀城　飯野山　レオマワールド　定期観光ルート</li> </ul> <p><b>ゴミ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミの分別の共通化</li> <li>生活する上で必要なごみ分別問題　わかりやすく循環型社会を目指せるもの</li> <li>ゴミ袋の有料化　責任ある分別　ゴミの減量</li> </ul> <p><b>上下水道</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上下水道、衛生環境</li> <li>生活排水対策</li> </ul> <p><b>公園</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公園、緑地の整備</li> </ul> <p><b>墓地</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>墓地の整備</li> </ul> <p><b>駐車場</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無料の駐車場　現在少ないのではないか</li> </ul> <p><b>I T</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有線放送の広域化、C A T V、I P 電話化</li> <li>C A T V の整備で常に情報公開を目指す</li> </ul> <p><b>情報公開</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報公開制度の確立</li> </ul> <p><b>防犯</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>警察署がバラバラ</li> <li>街灯、支所の設置</li> <li>安全に生活できているか、犯罪などに対して対策は十分か</li> </ul> <p><b>島しょ部</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>飯山、綾歌から本島へ交換留学</li> <li>離島への情報</li> <li>定期便船、キャンプ場等</li> </ul>	

2 班	住環境整備　〔目指すべき方向性〕
<p><b>公共交通</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 利用者の希望に合わせた　１．ルート、２．時間帯、３．目的別（通学・通院・通勤）</li> <li>• コミュニティバス　目的地へ直行便を作る（レオマワールド、病院ほか）</li> <li>• ＪＲと琴電のダイヤに合わせたバスの運行</li> </ul> <p><b>道路</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 南北の幹線道路を作る</li> <li>• 土器川堤防道路を整備する</li> <li>• （通学路の）歩道の整備</li> </ul> <p><b>ゴミ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ゴミの分別の統一と徹底</li> <li>• ゴミの減量　ゴミの循環</li> </ul> <p><b>上下水道</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 生活排水</li> </ul> <p><b>IT</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 新市発足と同時にIT通信基盤の整備</li> </ul> <p><b>防犯</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 常時駐在する交番に格上げ（警察官の増員）</li> <li>• 防犯灯の整備</li> <li>• 交通安全講習会を増やす</li> </ul>	



**道路、公共交通****新市として一体化した道路整備**

- 新市を結ぶ南北幹線として土器川堤防道路を整備する

**歩行者優先の道づくり**

- 通学路に歩道を優先的に整備する

**利用者が利用しやすいコミュニティバス**

- 1. ルート、2. 時間帯、3. 目的地別 を考えた運用

**住宅環境衛生****“ ゴミ ” 循環型社会を目指したゴミの分別収集体制の確立**

- 分別方法の統一 住民の啓発
- 収集の有料化

**安全・安心なまちづくりに向けて**

- 駐在所・派出所を交番に格上げする
- 歩道のある道路に防犯灯を付ける

**情報・通信基盤****情報最先端地域を目指して（各家庭と行政のアクセス）**

- C A T V の整備（今ある有線設備を利用する）
- I P 電話の普及（テレビ電話の可能性）

**港湾、離島****人が行き交う港湾整備・離島振興**

- 離島への定期便数の増便
- 宿泊学習施設の充実
- 海辺のレクリエーション空間の整備

3 班	産業振興　〔課題〕
<p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• レオマに温泉　子供から高齢者までが楽しく遊べる</li> <li>• レジャー産業　スポーツ、遊戯、遠足</li> <li>• 岡田南部にある休業地（運動公園予定地）を活用する</li> <li>• 土器川に道路を作ってほしい</li> <li>• ため池の活用</li> <li>• 農業の法人化の推進</li> <li>• 米麦だけでは生計が成り立たない！</li> <li>• 農業後継者の確保　地域の特産や伝統を残していくため、1市2町でどのように取り組むか？</li> <li>• 農業の株式化</li> <li>• 農業の共同化</li> <li>• 農業従事者の高齢化等による離農　耕作放棄田の増加</li> </ul> <p><b>評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 道の駅、産直は農家にとってプラス</li> <li>• 綾歌町　菊（専門）</li> <li>• 古くからの伝統を受け継いでいる（桃）</li> <li>• 米麦づくりを主とした農業の株式会社化、未来へ長期的な取組、具体化</li> <li>• シンボルである飯野山、特産である桃を活用した行事等を開催している（飯山町）</li> </ul> <p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 後継者対策、高齢化対策 非農家の活用（農業サポーター制度）、休耕田を活用したアグリ塾（非農家に貸出し）</li> <li>• 丸亀駅前での公設市場の開催（参考：飯山町）</li> <li>• 農業分野より観光・商工業が優先事項</li> <li>• 丸亀にも産直を（登録制による農家確保、農家支援）</li> <li>• グルメコース　瀬戸の島（魚）、うどん、桃、松茸</li> <li>• 農業体験者の受入れ（都会の人を対象に）</li> <li>• 観光コース　1市2町の史跡、飯野山登山</li> <li>• 香川県全体でブームになっているうどんを観光等に生かせないか？</li> <li>• 1市2町を流れる土器川を観光に生かせないか？　水辺の公園等</li> <li>• 丸亀：婆娑羅まつり、綾歌：あやうたまつり、飯山：桃の里にここウォーク</li> <li>• 雇用促進のための企業（新規企業）誘致は可能か？</li> <li>• レオマ等の観光資源の活用</li> <li>• レオマと温泉（要望と支援）</li> </ul>	

3班	産業振興 [新市で取り組みたいこと]
<p><b>農業振興</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 農業体験事業（非農家との連携）(受入れ)</li> <li>• 後継者対策</li> <li>• 公設市場の開設（産直）丸亀で</li> </ul> <p><b>観光産業の振興</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域の特色あるイベントの充実</li> <li>• レオマとの連携（相互支援と協力）</li> <li>• 公設市場の開設（産直）丸亀で</li> <li>• 観光コースの設定</li> <li>• レジャー産業 土器川河川敷の整備</li> <li>• 国有林の活用 下草整備をして松茸栽培</li> <li>• 土器川の活用（親水と道など）</li> </ul> <p><b>産業の創出</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• グルメ産業（魚、桃、うどん、伝統的食べ物）</li> <li>• 観光コースの設定</li> <li>• レジャー産業 土器川河川敷の整備</li> </ul> <p><b>雇用対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 企業誘致</li> <li>• 循環バスを高年齢者以外にも利用、レオマの拠点から丸亀（城下町）競艇をラインで結ぶ、市民の交流活発化</li> <li>• 地域を活性化させるため、丸亀・綾歌・飯山で現在開催しているイベントを、合併へ向けてどのようなスタイルで取り組んでいくか？</li> </ul> <p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• こんぴら街道、道の駅、丸亀城、中津万象園</li> <li>• レオマワールド 連絡路、標識</li> <li>• 南北道路 土器川兩岸 丸亀 - 飯山 - 綾歌</li> <li>• グルメ産業 瀬戸の鮮魚、桃、うどん</li> <li>• 新市の産業振興についての懇談会 企業代表者、市当局、学識経験者 これに関連した専門家の講演会の開催</li> <li>• 都市計画の再編成 例えば、現在の丸亀市街地をA地区・・・C地区に再編、現在では官庁街にバー・スナックが多い 港周辺に移ってもよい</li> </ul>	

4 班	文化・教育　〔課題〕
<p><b>学校教育</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 教員試験</li> <li>• 中高一貫制は？</li> <li>• お寺（座禅、精神、礼儀）</li> <li>• 2学期制について</li> <li>• 保・幼・小～ 子供たちの精神性の向上性</li> <li>• 各分野の指導者を発掘する、人材の育成に力を注ぐ</li> <li>• 若い人が色々な会、行事に参加しない</li> <li>• 学童保育の在り方について</li> <li>• 学校教育環境の格差</li> <li>• 中心となる文化施設を設置（建設）してほしい</li> <li>• 自由校区にすることにより（学校）内容の充実を図る</li> <li>• 土曜教育、自由参加、自由勉強、自由運動（舞踊、工作、美術、音楽、ダンス） 学校の授業でできないもの</li> </ul> <p><b>文化一般</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• スポーツの在り方</li> <li>• 無理やり行事を押し付けない</li> <li>• ハード面よりもソフト面の充実を目指す</li> <li>• 文化の発信基地として何があるか？ 各地域に何があるか</li> <li>• 文化活動の場の確保、文化施設の整備</li> <li>• 各分野の同好会、サークル等に行政は助成金を出すこと。文化・芸術サークルの 市内連合会を作る、発表の場を持つ。ボランティア的なものにしていく</li> <li>• 文化情報の発信・提供</li> <li>• 文化財の整備 現在の保存事業が合併後も継続できるのか</li> <li>• 文化協会、体育協会等の各自治体の温度差</li> <li>• 歴史資料館の整備</li> <li>• 文化協会等の活動の見直し 会費、練習の場、事務局</li> <li>• 行政主体ではなく住民参加型（実行委員会形式をとっては？）</li> <li>• 学校教育は地域差があってはいけないが、文化・芸術は特性を伸ばすことが必要</li> <li>• 各団体が自主性を持って活動できるように</li> <li>• 田園都市、その成立を支える基礎を確立することが大事</li> <li>• 子供の遊び場、公園</li> <li>• 地域ごとの施設整備の密度（利用状況、施設数等）</li> <li>• 各団体が合併すると枠組みはどうされるのか？（PTA、愛育会、こじか・・・）</li> </ul>	

4班

文化・教育　〔目指すべき方向性〕

**人生は短く芸術は長い！**

- 新市文化芸術祭を開催し、市民に浸透させる
- 世代交流がある文化サークルを作る。(例：碁・将棋のサークル)
- 新市の特性を生かしたイベントを見つけ、全国へ向けて発信する
- 新市の文化・芸術サークルを育てる(助成)
- どこにもない究極の情操教育のまち
- 社会人になっても一生涯学べるまち
- 飯野山登山を全国的ブームになるようにする
- 老人、子供、社会人の交流が深いまち
- 文化、芸術による活力あるまち

**学校 = 社会教育**

- 生涯学習 シニア（大人）向けの学校開校
- あいさつ運動
- 出前講座等による行政の講演、説明
- 田園都市を目指すには、農業基盤の確立が必要である
- 市民を対象にした文化芸術等の発表会を設定する
- 八十八ヶ所のように市内に市民が巡れるコースを作る。歴史散歩の充実
- 住民と行政の連携、話し合いの場
- 文化に関する機関誌を発行する
- モラルがあつての個性
- 地域に根ざした教育
- 情操教育
- 世代交代の活発化
- リーダー育成
- ボランティアの養成（NPO）
- 若い人の意見を聞く
- 親の教育（家庭教育学級、子育て講座等）
- 市民の意見をよく聞き、できるだけ意見を取り入れる
- 住民が考えて住民が企画し住民が運営する行事・事業を中心に考える（住民参加型）
- 総合学習、体験活動の充実

**医療の現状**

- 財政 国民医療費30.4兆円、1人当たり23.9万円、4人家族96万円（平成13年度）国の財政、地方自治体、個人負担増
- 医療に関し、糖尿病 10人に1人、予備軍 6.3人に1人（5年で250万人増）高血圧・境界域含む3,400万人
- 脳梗塞、内部障害、成人病、アレルギー等の障害が増えてきている
- 心臓手術（更生医療）の件数が増加している
- 現役者に対する健康と食を普及する
- 各コミュニティでの健診業務 今話題となっている専門医による健診ができているのか？

**医療機関の問題**

- 医療機関が少ない、遠い 総合病院・小児科・精神科
- 大きな病院施設完備もあるし、専門的な開業医も充実

**高齢者福祉の問題点**

- 独居、高齢者2人世帯の増加
- 元気な高齢者の生きがいづくり
- 寝たきり・痴呆・引きこもりをなくし元気なまちに
- 各コミュニティセンターで高齢者相談などを保健師がしているのはよい
- 老人クラブ（60歳以上）クラブ員の減少、活動の充実を！

**少子化対策**

- 少子化 年間出生数年々低下
- 少子化にストップをかけ、子供がたくさんなまちに
- 虐待対策ネットワークづくりを進めているところ
- 子育て支援の不足、保育の選択肢が少ない（障害児保育、病児保育、一時預かり、延長保育）
- 亀っ子広場、地域による子育て支援活動 充実している 保育士・栄養士・保健師 毎月1～2日
- 保育所の定員不足は？
- グレーゾーンの子供への支援（多動傾向児、ADHD、自閉傾向児）

**介護保険対策**

- 介護保険の十分な活用がされているのか？ 疑問！？ 商売になっていないか！
- 介護保険施設に頼っている
- 社協の活躍 ひまわりセンター中心に活動が盛ん
- 特別養護老人ホームや老人介護施設の乱立と競争！？

**障害者福祉**

- 障害を持つ人の心のケアについて
- 障害者在宅支援施策が不十分
- 車椅子等リサイクルができそうなものについての再利用（身体障害者制度で要らなくなったものを介護保険で）
- うぶすな園、ひまわりセンター内の障害者学級 評価できる

**施設の問題**

- 住民参加型の循環福祉社会の創出
- 総合的コミュニティを創設し“元気”なまちづくり
- 高齢者のリハビリを主とした温水プールを作ってほしい
- 健康増進施設がない 市民運動場、スポーツクラブなど
- いわゆる“ご近所付き合い”、“親族との生活”が希薄になっていて、“ちょっとお願いする”等助け合いができなくなっている
- 子・孫のために社会保障の維持
- 国民年金などの未納者の対策とかは？

**適応食の実践**

- 打開策あり 健康を目指す 個人個人が持っている自然治癒力（免疫力）を高める  
（方法） 運動、心の平静を保つ（趣味） 食を正す（最も大切） 食・動・心の実践が基本食を正す 自然の法則に沿った正しい食事の源、一物全体食、身土不二の原則、適応食  
日本人 主食（米） 副食（旬の野菜を中心に、大豆、海藻、小魚）  
腹八分医者要らず、腹七分に病なし、小学校に食育の時間を設ける（小4） 食文化 伝承文化

**健康**

- 生活習慣病の予防
- 増加する医療費の右肩下がり
- バランスのある食生活、ストレスの少ない生活をつくる

**高齢者の生きがい**

- 家でこもらず気軽に社会参加できる場所をつくる
- 高齢者（独居） 日の当たるような福祉対策 地域ボランティアの立上げ
- “元気な老人” 適切な運動を定期的に心がける
- 元気な高齢者を増やす
- 現役時代のノウハウをボランティアで地域社会に
- 寝たきりにさせない介護へ（人・時間）

**医療**

- 医療・保健福祉の連携
- 大きな（総合）病院と開業医の連携を取り、長時間の待ち時間をなくす
- いつでもすぐに専門ケア

**施設**

- 高齢者が集まれる場所づくり（施設・グラウンド）
- 全市民が活用できる施設 共有できるもの

**少子化対策**

- 生産年齢人口の右肩上がりに
- 2人以上の出産児への補助事業を
- 晩婚・未婚をなくすための支援

**コミュニケーションが取れる**

- 誰も孤立しないまち
- “仲良しご近所” づくり
- 日常的な声かけ（地域で）

**障害者も地域で仲良く**

- 施設 在宅へ 皆が地域で住める
- 障害者も地域の支援 ボランティアに頼らず、もっと小中学生の授業の中にも奉仕作業や交流などを取り入れる
- 障害者も在宅で家族と暮らせる
- 障害者を施設から社会へ グループホームへの助け合い
- 障害者の就職先の充実・支援
- “福祉” という大きな枠で必要な制度の見直し

**子育て支援**

- 子育てが楽しくなるまちづくり
- 核家族化での子育ての不安、育児ノイローゼ、ストレスの改善 母子で楽しめるコミュニティでのイベントや相談コーナー
- 各地域への子育て支援 地域密着型、地域で育てる方向性、親睦
- 預ける施設の充実、子供の状況にあった施設の設置



5 班	健康・福祉　〔新市で取り組みたいこと〕
<p><b>健康づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 新鮮野菜、食品等はその地域で採れたものを愛食する</li> <li>• 1市2町の文化、教育、交通等の格差をなくす</li> <li>• 各年代合同の集会（ディスカッション）を定期的に行う</li> <li>• 食生活改善事業を地域の中に普及する</li> <li>• 高齢者にもわかりやすい食事指導や転ばないための体操等による健康づくり</li> <li>• 「声かけ」による地域での強いつながりを持ち、引きこもりや寝たきりを防止する</li> <li>• 高齢者（おばあちゃん）の知恵を時々借りる</li> <li>• 健康診断の受診率アップで、早期発見　行政・住民連携</li> <li>• 行政と企業が連携し、健康増進を図る</li> <li>• 民間と連携して、運動施設を運営し、健康づくりを行う</li> <li>• “近所に声かけ”をし、できるだけ多くの人が無理なくできる運動を定期的に行う</li> </ul> <p><b>医療</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 各病院を市民が評価して　（三ツ星）を付ける</li> <li>• 形（型）だけでなく、専門医による適切な健診　正確性と全市民の信頼あるもの</li> <li>• 市全体を見て、専門性のある病院をバランスよく誘致する</li> </ul> <p><b>施設</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 市全体でバランスの取れた施設の建設</li> <li>• 地域のコミュニティでの充実をもっと増やすとともに、老人ホームと保育施設を隣り合わせにして交流！</li> <li>• リハビリ施設も兼ねた温泉、公共のクアハウスに、保健センターや医療施設もあってよいのでは！！</li> <li>• 介護が決して暗くならないように、24時間サービス、ボランティアや支援のネットワークづくり！</li> <li>• 独居老人宅への地域ボランティアサービス　話を聞く、一日一回顔を見に行くなど</li> </ul> <p><b>少子化・子育て</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 少子化防止策は行政が重視する時期である</li> <li>• 子育て中の母親が近くで交流を持てる支援サービスの充実を</li> <li>• 育児中の仕事に支援対策、24時間保育サポート、病児里親ボランティア教育</li> <li>• 子育て支援員、里親制度の充実</li> <li>• 子育てホームヘルプを充実させる</li> </ul> <p><b>コミュニティ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 生涯学習で更なる地域活性化を進める</li> <li>• NPO、ボランティア等と行政は連携して成果ある方向へ</li> <li>• “仲良しづくりの場”　障害者、高齢者等同じ悩みを持つ人たちの交流の場をつくり、そこで今後したいことの検討会等、意見が出やすい場をつくる。また、その意見が市政に反映できればいい。</li> </ul> <p><b>障害者</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 障害者の自立に向け、グループホームや就職できる設備投資に積極的に取り組む（例：駅のコンビニ、喫茶、パン屋）</li> <li>• 療育的対応のできる保育施設を作る、つばめ教室を施設として充実させる</li> <li>• 障害者ホームヘルプの充実を図る</li> <li>• 障害者の視点で道路建設を行う</li> <li>• 「障害者相談」など、直接生の声が聞ける場所の充実</li> <li>• 福祉制度という大きな枠での制度の見直し、必要な制度とか生活する人の意見を聞く</li> <li>• 舗道の整備（障害を持つ人にもやさしい）</li> </ul>	

6 班	行財政改革　〔課題〕
<p><b>地方分権</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地方財政の危機</li> <li>• 地方分権</li> <li>• 地方交付税の減</li> </ul> <p><b>歳入増</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 企業誘致</li> <li>• 定住・交流人口の拡大</li> </ul> <p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 歳出構造の根本的な見直し、公共事業・投資的な事業</li> <li>• ハードからソフトへ</li> <li>• 事業計画等の見直し</li> <li>• 意識改革</li> <li>• 危機意識が低い、住民も職員も</li> <li>• 行財政のテンポが遅い</li> <li>• 行政の守備範囲の見直し</li> <li>• 行財政改革には「対立」が必ず起こるが、いかに対応するか（行政効率が悪くなる）</li> <li>• 信頼される行政の確立</li> <li>• 市民参加</li> <li>• 行財政に係る住民（市民）参加方式はどのようにするか</li> <li>• 住民自治、住民参加</li> <li>• 情報公開</li> <li>• 透明化、公正化</li> <li>• 市民がわかりやすい納得のいく市政</li> </ul>	

**歳入の増加**

- 農業の活性化　高齢者の生きがいにつながる
- 新産業の導入　税源アップにつながる
- 新しいまちづくりの財源確保
- 電子自治体（IT化）の構築
- 電子会議室
- 電子自治体
- 子育て支援、人口増加

**コスト削減**

- 職員の人材育成、労務管理
- 管理職の問題
- 職員の削減
- 組織改革
- 女性職員の能力活用
- 行政プロセスの透明化
- 議員定数削減
- 議会の機能回復

**民間の活用**

- 業務の住民参加による役所業務削減
- 民間導入
- 多様な民間活用法
- 民間委託、民営化の推進
- NPO活用

**その他**

- 民間企業経営の感覚、手法の導入
- 財政指数の長期、短期計画
- 行政評価
- 行政評価システムの導入

**オンリーワンのまちづくり****歳入拡大**

- 積極的な宅地造成をし、人口増につなげる（税の増収）
- 観光行政の積極的な推進、新観光の開発、レオマワールドのバックアップ
- 農協とのタイアップ
- 農業の活性化
- 農業者（生産者）団体による地産地消活動　農業者団体による憩いの場づくり  
＝ 高齢農業の活用、高齢者の生きがい、町の活性　行政介入

**事務事業見直し**

- 補助金公募
- 補助金の明確化
- 既存施設の有効利用
- 公共施設などの統廃合　図書館、体育館など
- 機構改革
- 女性の登用
- 電子入札制度
- 電子自治体（IT化）構築
- バランスシートの作成・公表
- 行政評価システム
- 歳出削減
- 受益者負担

**レベルの高い住民参加**

- まちづくり市民会議
- 要望・要求型ではなく提案型
- 企画・運営まで参画
- 住民自治基本条例
- 電子会議室
- 出前自治体
- 住民　行政住み分け
- 各自治会の格付
- 町内会、自治会等コミュニケーション機構の充実

**民間委託**

- 自主的・主体的市民活動支援

7班	コミュニティの推進〔課題〕
<p><b>問題点</b></p> <p><b>住民意識</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域のつながりはどんどん薄れていくだろうが、その対策はどんなものがあるか</li> <li>• 役員のなり手がなく 同じ人がなりやすい、活性化は図れない</li> <li>• コミュニティの基盤となる自治会について、メリットは何か？と問われることが多い</li> <li>• 地域のつながりが薄くなりつつある</li> <li>• 若い世代で地域に無関心な人の増加</li> <li>• 子供会活動 参加者減少</li> </ul> <p><b>財政援助</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 財政面の援助の有無</li> </ul> <p><b>多くの人が参加</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 外国人・交流の場 ウォークラリーなど</li> <li>• 若者の会</li> <li>• ボランティアなど活動の情報</li> </ul> <p><b>ハード</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 活動の拠点となる施設がない</li> <li>• 伝統行事の有無</li> <li>• 活動拠点となる施設整備の如何（会議センター）</li> <li>• 活動家、指導者の有無</li> </ul> <p><b>自治会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 何のための組織か？ 疑問 広報、ゴミ</li> <li>• 他者を受け入れない閉鎖的なところがある</li> <li>• 自治会等、転入者に対して受入れ難しい。逆もあり（入らない人）</li> <li>• 自治会に入っていない（高齢・独身者等）の対応</li> </ul> <p><b>良い点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域公民館の活用（行政の出前説明会、地域の文化活動の中心）</li> <li>• 近所付き合いなどが自然とできるところもある</li> <li>• 従来の自治会組織は連帯ということで押し付け感がある。コミュニティでは自主性・個性を發揮してほしい</li> <li>• いろんな行事を通して・・・人間関係づくり</li> </ul>	

7班	コミュニティの推進〔目指すべき方向性〕
<p><b>意識づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 住民同士が豊かな人間関係や信頼関係を築ける雰囲気づくり</li> <li>• 行政側は可能な限りの情報を様々な手段を用いて発信する。住民も行政に対する意識を高める</li> <li>• 行政 住民 密になる地域づくり</li> <li>• ボランティア活動を生かして行政と住民とのつながり</li> <li>• 新しい住人、外国人関係なく暖かく迎え入れる</li> <li>• 若者の会を作るなど、若い世代が中心となることができる活動</li> <li>• 指導者（人材）の育成</li> <li>• 魅力ある企画（指導家、活動家） 人材マップづくりなど</li> <li>• 郷土に誇りを持てる人・まちづくり</li> <li>• 自分たちの地域は自分たちでつくる意識づくり</li> <li>• （議員も少数になるので）自治会が情報伝達・意思吸い上げの中心となるように</li> <li>• コミュニティの長が若い世代やいろいろな団体の意見を吸い上げ、発言できる機会を増やす</li> <li>• 若者や無関心層を取り込める魅力あるコミュニティ</li> </ul> <p><b>施設</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 施設建設などの補助</li> <li>• 施設をどんどん利用する</li> <li>• 地域の老人会の集まり場所としても公民館を利用したい</li> <li>• 地域公民館が文化会活動の場所となる</li> <li>• コミュニティに自主的に使える予算や権限を与える</li> </ul> <p><b>組織</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 誰でも参加できる組織づくり</li> <li>• コミュニティの枠組みの大きさのある程度決めた方がよい</li> <li>• コミュニティの規模</li> <li>• 組織の大小による活動の差異、校区単位がふさわしい</li> </ul> <p><b>交流</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 世代交流の場</li> <li>• 伝統行事の継承が地域の人間関係をつくり地域活性を促進する</li> </ul> <p><b>情報</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域づくりの参考となる情報提供をするための仕組みづくり</li> <li>• 住民一人ひとりの意識づくり 情報公開</li> <li>• 工夫（広報、有線放送）</li> <li>• 情報公開 広報誌の紙面拡大（多面の情報）</li> <li>• 有線テレビの行政との情報効果</li> <li>• 住民の声が行政に届くようなシステムづくり</li> <li>• コミュニティ同士の情報交換会をする</li> </ul>	

7班	コミュニティの推進 [新市で取り組みたいこと]
<p><b>自ら進んで動くコミュニティ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• みんなが生き生きと暮らせる地域づくりは自分たちで・・・</li> <li>• 自分たちのまちは自分でつくると意識づくり</li> <li>• 地方自治、住民自治の発信点・核的役割を担う地域づくり</li> <li>• 地域の自主性を持ったまちづくりを推進（リーダーの育成）</li> <li>• 市民（住民）意識の向上のための市民講座の開催</li> <li>• 対等な立場、住民と行政</li> <li>• リーダーとなる人間づくり</li> <li>• コミュニティセンターの多目的な利用方法を考える</li> <li>• 児童館と共用できるような小さな体育館がほしい</li> <li>• 高齢者（経験豊かな）の参画を呼びかけ</li> <li>• 人材バンク コミュニティで何かしたいときに教えてもらえる人がわかる</li> <li>• 気安く話し、相談できる窓口がほしい</li> <li>• コミュニティ（住民）の意見が行政にうまく届けられるような仕組みを作る</li> <li>• 自主性を欠かない程度のマニュアルづくり</li> <li>• 情報公開、意見集約の地域組織を作りたい（行政も住民も頼りにできるもの）</li> <li>• 行政とのパートナーシップ 「意見交流」会開催</li> <li>• 一家に一台パソコンを！！</li> <li>• 声かけ運動 あいさつ運動</li> <li>• 防犯、防災 役割重要</li> <li>• 生活環境の美化運動（クリーン活動）が身近な人間関係</li> <li>• 伝統行事を継承していく中での交流を通して地域づくりを推進していく</li> <li>• 活動の呼びかけ 魅力あるものに</li> <li>• 行政側の出前講座の開催</li> <li>• いろいろな会（組織）の役員の中での女性や年齢構成の比率をある程度決める</li> <li>• 自主防災組織、自分たちの地域を自分たちで守る、コミュニティ単位での防災要領を作っておく、ご近所の助け合いをマニュアル化、行政との協力体制を整えておく、器材や収納庫などの補助制度、安全なコミュニティづくり</li> <li>• コミュニティに権限を持たせる</li> <li>• 今ある国際交流やホームステイの取組を他の市・町・住民に知らせる（情報交換、提供）</li> <li>• ボランティア活動の情報の公開を推進</li> <li>• 若者や女性を役員に多く登用するために規則づくり</li> <li>• コミュニティづくりがうまくいくと、こんなに楽しい地域になりますという情報の提供。みんなが幸せになる</li> </ul>	